

アベックス

医薬分業の流れと20年

待望の「地域のかかりつけ薬局」の実現へ

(東京)



伊藤 豊 社長

【医】

師の診察時に発行される処方せんに基づき、保険薬局で薬剤師が調剤するという医薬分業が主流となり、現在では分業率も約6割に到達している（社団法人日本薬剤師会調べ）。「医薬分業の流れが進んだだけ、薬の安全使用や医療費の効率化など、薬剤師の責任は重大です。そこで薬剤師が専門性を磨くことはもちろん大切ですが、『地域のかかりつけ薬局』としてさらにできることがある」

こう話すのは、東京都品川区を中心に調剤薬局を運

営している株式会社アベックスの伊藤豊社長だ。

同社の設立は1989年7月。その3年前に品川区の臨海部の工場用地が住宅開発され、住民が増加。地

域の拠点クリニックである、東品川クリニックの事務長

兼薬局長だった伊藤社長が、同クリニックを処方元とした薬局運営を開始した。

次第に店舗数は拡大し、現在では直営5店とフランチャイズ2店の調剤薬局を束ねる薬局グループを形成

今年で20年目を迎える。そんな同社が推進してきたのは従来の調剤薬局の型にはまらない薬局サービス

その一つがOTC医薬品（処方せんを必要としない一般用医薬品）の販売だ。

このOTC医薬品の大半は購入に際して、薬剤師や

09年6月より開始される登録販売者の助言を受けることが望ましい、あるいは義務づけられている。

「昨今、セルフメディケイションの意識が高まる中、ドラッグストアも処方せんとOTC医薬品販売を併業し始めています」（伊藤社長）

同社はこの競争下、処方せんに日々接する保険薬局ならではの、患者への安心感の醸成を目指している。

その他、店舗で患者を待つだけでなく在宅医療を展開。地域住民と触れ合う機会を大切にしている。

また、居宅介護支援を実施した実績もある。現在、そのノウハウは介護用品や在宅治療材料の取り扱いに役立てられている。さらに管理栄養士を活用した情報発信も企画 중이다。

「人」こそ薬局の差別化要素

「調剤は日本全国どこでも手に入れても同じ。他社サービスとの差別化は薬剤師、『人』そのものなのです」

こう伊藤社長が話す通り、同社では薬剤師教育に余念を惜しまない。例えば、新入社員研修では一般常識・マナー教育はもちろん、医療機関の見学や「薬剤師あゆみの会」参画の企業の薬剤師も交えた宿泊研修も実施。また、薬剤師の対話力を養うコミュニケーションセミナーも行っている。

充実した研修は薬剤師を成長させる。ゆくゆくは同社のバックアップの下に、独立開業の道も開けている。現在、06年からの大学薬

東京都	
青横ファーマシー薬局 (品川区南品川)	☎03-5461-8255
台場薬局 (品川区東品川)	☎03-3450-8511
クリーン薬局 (品川区東品川)	☎03-3472-2411
クリーン薬局新小岩 (葛飾区東新小岩)	☎03-3695-1976
上平井クリーン薬局 (葛飾区西新小岩)	☎03-6413-8720
クリーン薬局立川 (立川市栄町)	☎042-534-5833
長野県	
並柳クリーン薬局 (長野県松本市並柳)	☎0263-24-9383

アベックスグループの薬局ネットワーク

学部入学者の教育年限に6年生過程が盛り込まれ、実務実習が必修化。これを受け、薬剤師実習生の受け入れも進めている同社。薬局を人を介した一つのサービス業として捉えた展開は、明日の日本の薬局運営に大きな影響を与えていく。(有)

【会社データ】

本社 東京都品川区東品川 3-18-3
☎03-3472-2562

設立 1989年7月
資本金 2000万円

社員数 33名
事業内容 調剤薬局の運営

http://www.apex.co.jp